

令和3年度アクション・プラン【但馬県民局】

I 目指す姿

但馬地域は、加速度的な人口減少や少子高齢化、とりわけ若者の域外流出が進む中、地域経済の活性化など解決に向けて取り組むべき課題を多く抱えている。

新型コロナウイルスの影響により地域経済は大きな打撃を受けたが、今後、地域の活力を維持するためには、コロナ禍を機に始まった ICT の一層の活用や日本農業遺産に認定され世界農業遺産認定を目指した取組が進む「兵庫美方地域の但馬牛システム」、日本遺産の認定を受けている「鉱石の道」「北前船」「麒麟獅子舞」、ユネスコ世界ジオパークとして再認定された「山陰海岸ジオパーク」などの豊かな地域資源を活用し、地域の魅力をより高める必要がある。

さらに、「芸術文化観光専門職大学」の開学や「豊岡演劇祭」の開催等により新たに芽生えた“芸術の力”を生かした地域づくりなど、但馬の強みを最大限に発揮するとともに、ポストコロナ社会を見据えた取組を実施することにより、交流人口の拡大、移住・定住を促進し、将来にわたり活力ある地域社会の構築を目指す。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
観光客入込数		1,020 万人	1,040 万人	1,060 万人	1,080 万人	1,100 万人
	989 万人 (H30)					
芸術文化に接する機会があると思う人の割合※		前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
	全県 38.2% (R1) 但馬 47.8% (R1)	全県 37.1% 但馬 40.2%				
但馬地域における UI ターン者数(単年)		350 人	360 人	375 人	390 人	400 人(単年)
	323 人 (H30)					
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合※		前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
	全県 77.9% (R1) 但馬 77.7% (R1)	全県 74.3% 但馬 71.0%				

※出典：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

II 取組の方向性

1 地域の元気づくり

(1) 地域資源を生かした活力の創出 ～但馬を盛り上げる～

“芸術の力”を生かした地域づくりや鉱石の道、山陰海岸ジオパーク、コウノトリ、城崎・湯村温泉などの地域資源を核とした産業振興等により、活力の創出を図る。

(2) 但馬の魅力を体感する周遊ツーリズムの推進 ～但馬を楽しむ～

但馬地域の多様なツーリズム資源を有効に活用し、感染拡大防止に配慮した各種プロモーションの実施や周遊観光の強化により、交流人口の拡大を図る。

(3) 農林水産資源のブランド力強化 ～但馬の強みを生かす～

コウノトリ育む農法の拡大や但馬牛の増頭対策、水産業の経営強化等、但馬の豊かな農林水産資源のブランド力強化により、産業・経済の活性化を図る。

2 人口対策

(1) 但馬への移住・定住の促進 ～但馬で暮らす・働く～

「但馬の多様な魅力」を総合的に発信し、住まいの確保、就職支援などの対策を総合的に行うことにより、UIターンによる若者など定住者の増加を図る。

(2) 住民主体による地域づくりの推進 ～但馬とつながる～

但馬とつながりを持つ人々が実施する、地域のにぎわい再生、環境保全等の地域活動を支援するなど、住民が主体の地域づくりを推進する。

Ⅲ 具体的な取組

1 地域の元気づくり

(1) 地域資源を生かした活力の創出 ～但馬を盛り上げる～

- ・「但馬まるごと芸術の郷」の推進（豊岡演劇祭や芸術文化観光専門職大学と連携した芸術イベントの但馬全域での実施等）
- ・「鉱石の道」プロジェクトの推進（鉱石の道4エリアの整備・地域活動への支援等）
- ・山陰海岸ジオパークの推進（ジオツーリズムの拡大、情報発信の充実・強化等）
- ・コウノトリの棲める郷づくりプロジェクトの推進（生息環境の整備、野生復帰PR事業の推進等）

【主な事業】

①「但馬まるごと芸術の郷」の推進《13,929千円》

新 「但馬まるごと芸術の郷」シンポジウムの開催

新 「但馬芸術文化交流のつどい」の開催

- ・ 豊岡演劇祭への支援
- ・ 市町や地域団体が実施する芸術文化事業への支援
- ・ 豊岡演劇祭と連携した周遊観光の促進への支援

②日本遺産を活用した地域の魅力づくりの推進《9,559千円》

新 鉱石の道探索ウォーキングイベントの実施

新 鉱石の道をつなぐ動画の作成・発信

新 フォトラリーの開催（インスタグラムを活用した魅力発信）

- ・ 「北前船」＋「麒麟獅子舞」日本遺産認定3周年事業の支援

③山陰海岸ジオパークの推進《9,913千円》

新 ドローンを活用したデジタルコンテンツ等の拡充

新 ジオパーク・トレイル案内サイン等の設置

④コウノトリの棲める郷づくりプロジェクトの推進《4,544千円》

新 コウノトリ未来・国際かいぎの開催

新 コウノトリ育む自然環境の出前講座の実施

⑤日本オオサンショウウオの会 朝来大会への支援《200千円》

新 全国大会の開催経費への助成

(2) 但馬の魅力を体感する周遊ツーリズムの推進 ～但馬を楽しむ～

- ・広域的誘客力の強化（情報の発信、サイクルツーリズムの推進、夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行、スキー場の誘客対策等）
- ・観光客受入体制の整備（インバウンド対策の強化、安心安全対策の強化等）
- ・交通基盤の整備（北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道、主要観光地へのアクセス道路整備の推進等）

【主な事業】

① コロナに負けない但馬観光の推進《25,950千円》

- 新 地域の観光情報発信プロモーションの実施
- 新 スキー場のグリーンシーズン誘客対策への支援
- 新 但馬地域のワーケーション推進への支援
- 新 観光地における安心・安全対策への支援
- 新 但馬在勤・在住外国人への広報・周知アクションの実施

② 「但馬まるごと感動市・食の祭典 in あさご」の開催《4,500千円》

③ 基幹道路ネットワークの整備

- ・ 北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道の整備推進
- ・ 地域活性化の取組みを支援するインフラ整備の推進

(3) 農林水産資源のブランド力強化 ～但馬の強みを生かす～

- ・但馬牛の生産基盤の強化（生産性向上、後継者・新規参入者の受入体制整備、日本農業遺産「但馬牛システム」を生かした交流の促進等）
- ・コウノトリ育む農法の取組拡大（農作業の省力化の推進、生産拡大、販売対策の強化等）
- ・但馬ブランド農産物の育成強化（増産対策、加工新商品開発の支援等）
- ・但馬水産王国の再興（「但馬産松葉ガニ」のブランド力強化等）

【主な事業】

① 但馬牛の生産基盤強化対策の推進《5,642千円》

- 拡 日本農業遺産「但馬牛システム」を生かした活性化
- 拡 但馬牛耕畜連携流通システムの確立
- 拡 観光産業との連携体制の構築
 - ・ 中・小規模生産農家の生産性向上や牛舎改修等の推進

② コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開《13,031千円》

- 拡 多収穫品種の生産拡大支援
- 拡 コウノトリ育む農法の農作業省力化の推進

③ 但馬ブランド農産物の育成強化《3,370千円》

④ アフターコロナ社会に適応した但馬水産王国再興の推進《6,460千円》

- 拡 ネット販売などによる新たな生活様式に適応した販売促進活動

⑤ 但馬産木材の海外輸出に向けた新たな供給体制整備《1,350千円》

- 新 情報交換会及び品質確保等研修会の開催

2 人口対策

(1) 但馬への移住・定住の促進 ～但馬で暮らす・働く～

- ・移住・定住希望者への対応強化（移住相談、UIターン関連情報の発信強化等）
- ・「但馬で働こう」大作戦の推進（高校生・大学生等への起業情報等の発信等）
- ・新たな働き方の実践（ICTを活用したスマート農業・大規模畜産経営の推進、演劇・温泉・ジオパーク等を楽しみながら働くワーケーションの推進等）

【主な事業】

①但馬U・Iターン400人大作戦の展開《7,298千円》

- 拡 移住マッチングサイト（SMOUT）での情報発信
- ・ たじま移住体験オーダーメイドツアーの実施

②「但馬で働こう」大作戦の推進《5,622千円》

- 拡 中高生・大学生等に対する情報発信
- ・ 但馬インターンシップ支援事業の推進

③但馬企業の元気アップ推進《5,166千円》

- 拡 夢但馬産業フェアの開催
- 新 専門職大学との連携による起業スタートアップ支援

④沖合漁船船員育成定着の促進《8,105千円》

- ・ 漁業就労未経験者を対象とした現場研修費用の助成

(2) 住民主体による地域づくりの推進 ～但馬とつながる～

- ・地域のにぎわい再生に向けた取組の推進（学生グループの活動支援等）
- ・地域の自然環境保全・再生に向けた取組の推進（若者によるラムサール条約湿地の保全等）
- ・但馬ファン増大による関係人口の拡大（但馬ファンクラブ会員・コウノトリファンクラブ会員等の増加に向けた取組等）
- ・地域団体との協働による地域づくりの推進（但馬夢テーブル委員会による実践活動等）

【主な事業】

①但馬での学生グループ地域づくり活動支援事業《1,340千円》

- ・ 大学生OBグループ、高校生グループの活動支援

②“夢但馬”地域情報発信事業《3,751千円》

- ・ イベントや地域で活躍する人物等の情報発信・PR

③参画と協働による但馬地域ビジョン（バージョン2）の推進《2,054千円》

- ・ 夢テーブル委員が取り組む実践活動への支援
- ・ 新しい地域ビジョンの策定

④ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業《1,789千円》

- ・ 高校生が主体となる生物調査や環境保全活動の推進

⑤夢但馬応援事業の推進《9,202千円》

- ・ 但馬地域で活動する団体が自ら企画する事業の支援